

ウィークリーニュースレター39号 2024

<いよいよ49期へ突入！>

8月より株式会社豊吉は49期へ突入しました。ひとえにお取引していただく皆様のお陰でここまで来ました。実は…私の年齢が9月9日で49歳です。つまり会社と私は同い年です。今週は株式会社豊吉を数字で振り返ります。今週も**その他のカテゴリーのお客様**のお話です。

<90年代の株式会社豊吉と池袋のお店のお話>

私が高校生になったのが1990年。バブルが始める直前です。高校生になるとアルバイトを開始します。最初のアルバイトは原山市民プール。小学生の頃から家の手伝いはしていましたが給与という形でもらうのは高校生になってからです。この時の原山市民プールは株式会社豊吉の直営店でした。業務内容は販売です。袋のスナック菓子やディスペンサーの清涼飲料水を販売していました。人手が少ないときはアメリカンドッグを生地から作ってフライヤーで調理していました。監視員のスタッフには中学の同級生もいて楽しいバイト生活を送っていました。

時給は700円？750円？くらいだったと思います。初めての給与明細の金額が7万円だった記憶があります。高校1年生にとっての7万円は高額で感動しました。そしてプールが直営でなくなった夏休みはドライバーさんのアシスタントで配達補助をしていました。この当時、大口の配達先が池袋の地下にあるスナックランドでした。

<スナックランドとは？>

池袋駅東口の地下にスナックランドという飲食スペースがありました。メニューはそばやうどん、ラーメンやアメリカンドッグと原宿ドッグにたこ焼き、たい焼き。一貫性のないメニューが飛びように売れました。トラックいっぱいの商品が全てこのスナックランドへ納品されます。夏の暑い日はドライバーと2人で3時間かけて納品していました。なぜなら納品場所が地下の倉庫だったからです。スナックランドの売上は月間で1千万を超えていたそうです。高校生ながら駅で商売できるというのが如何にすごいのかを見せつけられた記憶があります。

株式会社豊吉の強みは粉ものだけでなく売店向けの商品を扱うことで場所とメニューのマッチングやノウハウ、仕入れルートの確保ができ、お客様に出店場所の斡旋も出来る会社として確立していました。日本全体がまだまだ元気だった時代です。ちなみ今のこの場所は銀だこやうどん店が入っているフードコートに変わっています。



<今月は10月の当選番号確定！！>

2022年3月からスタートした納品書番号のおみくじです！今一度、ルールのご説明。納品書の番号が抽選対象の数字です。下の番号と一致した場合、納品書の金額から10%オフします。自動的にオフはしません。お客様から「当選しました！」とメールか電話、LINEでご連絡をいただくと確定です。**申告の締切は翌月の1日が締め切りです。「53125」「53276」「53348」最後のチェックを忘れずに！！**



株式会社豊吉 LINE 注文アカウント



キッチンカー開業セミナー



豊吉公式 Twitter



株式会社豊吉ホームページ

2024年10月11日作成 作成者：豊吉正徳